

特定非営利活動法人
くまがや小麦の会
 発行責任者 日向美津江
 ホームページアドレス
<http://www.kumagayakomuginokai.jp/>
 くまがや小麦の会

NPO 法人
くまがや小麦の会
 since 2006
 事務局 〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良1797-1
 TEL. 048-521-7801

Interview シリーズ No. 10

久保校長は「かざさん花の冠」に示される、「常に自分の夢や希望に向かって、仲間と共に励まし合いながら進んでいく」という熊谷生の姿勢をアピールポイントとして強調している。自主自律の精神と豊かな人格を有し、二十一世紀の社会を担う生徒を目指す熊谷の積極的な取り組みは、県内外からも注目を浴びている。

熊谷育ちの久保校長が少年時代、通学途中に見た熊谷生を見ての印象を、気品あふれる女子高生だったと語った。そして現在、熊谷の校長となりその印象を改めて感じていて言う、「勉強、学校行事、部活動を全力で取り組む『三張る』という姿勢が息づいている」と胸を張った。

久保校長は「かざさん花の冠」に示される、「常に自分の夢や希望に向かって、仲間と共に励まし合いながら進んでいく」という熊谷生の姿勢をアピールポイントとして強調している。自主自律の精神と豊かな人格を有し、二十一世紀の社会を担う生徒を目指す熊谷の積極的な取り組みは、県内外からも注目を浴びている。

熊谷育ちの久保校長が少年時代、通学途中に見た熊谷生を見ての印象を、気品あふれる女子高生だったと語った。そして現在、熊谷の校長となりその印象を改めて感じていて言う、「勉強、学校行事、部活動を全力で取り組む『三張る』という姿勢が息づいている」と胸を張った。

熊谷育ちの久保校長が少年時代、通学途中に見た熊谷生を見ての印象を、気品あふれる女子高生だったと語った。そして現在、熊谷の校長となりその印象を改めて感じていて言う、「勉強、学校行事、部活動を全力で取り組む『三張る』という姿勢が息づいている」と胸を張った。

埼玉県立熊谷女子高等学校
 校長 **久保 正美** 先生
 昭和31年4月 生まれ
 昭和44年3月 熊谷市立熊谷東小学校卒業
 昭和47年3月 熊谷市立富士見中学校卒業
 昭和50年3月 埼玉県立松山高等学校卒業
 昭和54年3月 日本体育大学体育学部体育学科卒業
 昭和54年7月〜埼玉県立熊谷高等学校教諭着任
 その後、埼玉教育庁全国高校総体推進室長、飯沼高等学校校長などを歴任、平成25年4月より、熊谷女子高等学校校長に就任。専門は保健体育(水泳)、趣味:ジョギング、駅伝など。

このお正月、久方ぶりに本庄の実家に里帰りした。東京から熊谷を経て本庄までの車窓を眺めながら、冬であつても畑や田んぼに麦や野菜が育ち、緑いっばい。滋賀県には冬の水田は殺風景。冬作の耕作が少ないのだ。熊谷は小麦の生産高で埼玉一というのもうなずける。

そんな風土の中で、小麦の会の皆さんが、地道に小麦の食文化を守り育ててくださっていることに頭がさがります。埼玉出身者としてお礼申し上げます。

実は、私自身も小麦、特に地粉の手作りちうどんには、人一倍の深い思い出と愛着があります。いわば「魂の食(ソウルフード)」。水田の少ない養蚕農家であつたわが家は、夏も冬も毎晩のように手打ちちうどん。昭和三十年代の子どもの時代には「またうどん」とかなり飽き飽きしていたのですが、昭和四十四年に関西の大学に出て、実家に帰った時の母の手打ちちうどんのおいしいこと！。色は黒くてみかけはきれいではないが、理屈ぬきに「おいしい」。輸入小麦が増えた時代には、母は徹底的に「地粉」にこだわっていました。平成には、いっつもまだ「地粉と金ゴマ」は自宅で栽培。夏はナス、冬は白ネギと白菜をゆでて「うどんのコ」。濃い目の煮干ダシと相性がいい。

年齢を重ねることに一層子ども時代の味覚が懐かしく、埼玉を思いおこしております。

「地粉と金ゴマ」、母の手打ちちうどんは「魂の食(ソウルフード)」
 熊谷女子高校 昭和四十四年卒
 滋賀県知事 嘉田由紀子
 生年月日 1950年5月18日
 出身地 埼玉県本庄市
 1969年 埼玉県立熊谷女子高校卒業
 1973年 京都大学農学部卒業
 1981年 京都大学大学院農学研究所 博士課程修了
 2006年7月2日 滋賀県知事当選 全国5人目の女性知事
 嘉田知事の姉上の明堂純子氏は本庄市の市議会議員、くまがや小麦の会の会員でもいらっしゃいます



「くわっ葉サブレ」を
 上田清司
 埼玉県知事に贈呈
 一月十七日(金)に、日向代表理事とNPO法人地域環境緑創造交流協会 富田副理事長が上田 清司 埼玉県知事を表敬訪問し、「くわっ葉サブレ」を贈呈しました。
 二人からは、「このコラボ企画は、「熊谷産小麦」と「深谷産くわ茶を使った、二つの市にまたがる地産地消・地域振興の取組であることなどを説明した上田知事は、「朝、これ一枚を食べれば十分栄養がとれますね。」とこやかに話していました。」

小布施町までの道程が危ぶまれる年末、スタッドレスにはき替へ、小布施町まで市町村長を御参りし、熊谷から二時間十五分小布施パーキングのスマートインターを抜け五分で小布施町に到着。季節外れにも拘らず、パスタの観光客はちらほら、外国の方が多く、二、三〇〇〇人の小布施町に年間二〇〇万人の観光客が訪れる、善光寺から四十分の立地。コンパクトに配置された施設は驚くべきのセンスに溢れている。小布施、桜井、甘粕、竹屋、三件の特産の栗を中心に和菓子店を中心に構成されている。伝統文化に培われた和菓子店の存在は小布施の文化に深く関係している。更にいぶし銀の様に一市村酒造が佇む、取り巻く民芸店、喫茶花屋はこの町の特徴の一つ。通り抜けを慣行しながら観光客が通り過ぎてゆくのだ。見ず知らずが軽く会釈、懐かしさ溢れる。

まちなも一つの中には葛飾北斎館周辺、メタセコイアの木の下にはオープンカフェが設置され、足元は栗の木の年輪を上にしたブロックで敷き詰められ、路地へと誘う。小布施の側溝にはサラサラと水が流れ、土蔵造りの蔵板の民家と美しく調和している。小道を辿ると高井鴻山記念館に着く。小布施に葛飾北斎を招き多くの肉筆画を小布施に残した、北斎の最晩年の作と言われる、岩松院の天井画「八方睨みの風凰」は山寺の環境に守られ、極彩色の朱の色も一六〇〇年前に描かれたまま保たれている。本堂の晝に寝る姿を眺め、空を舞う風凰と視点の合う。北斎の遊び、風凰の羽は折り曲げられ信濃のまちに富士山を隠し絵に描いている。

小布施町役場は小布施駅のすぐ近く、町長室に外出先から時間に戻ってきた、部屋に飾られていた明治大正期の小布施の街並の写真を「説明下さり」「民と官の境はないでしょう。自分の家の前の道を掃かない家はなかった。家と道の縁石を外す作業を現在の小布施の中心街道に行いたい」と語られた。景観については止まるときはない。小布施のまちづくりの一つにオープンガーデンがある。一〇〇件を超す家が参加している。街の家に WELCOME FORT MY GARDEN 64 と統一の案内板が掲げられていた。学校に通うとき、よその家の庭が通って近道したように微笑まれる。

日本食レストランに伺った。目前には小布施に疎開をしていく中島千波の美術館と田園風景が広がる。人が人として楽しめる環境に包まれ充実感で満たされた。二十年前畑の美術館として建設を英断された、官民協力の戦いに挑まれた。町を愛し来訪者をもてなす心が小布施の町を輝かせている。

次号のお届けは2014年6月の予定です。

編集室 TEL 048-521-7801 FAX 048-521-7900

小麦の会 活動報告

10/3(木)高城神社明神市 高城神社境内

前夜の雨も上がり秋晴れの中、高城神社境内で恒例の奉賛婦人会主催の明神市が開かれました。各町内、手作り作品等集められた諸々が品々を準備しながら欲しい物を入れました。10時前すでに熱気あふれる雰囲気となっていました。小麦の会のテーブルでも待っていて下さる方も多く、食パン、菓子パン、パウンド、サブレ、焼きそば、小麦粉等の中には完売した品々もあって、改めて見える材料、確かな品をお届けすことの大切さを実感しました。特に昨年度より販売を始めた熊谷の小麦を使った焼きそばは好評でしたが、到着が遅れ待ちきれなかったお客様方にはお詫び申し上げます。(KJ)



10/12(土)大相撲熊谷場所 熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム

熊谷場所は5年ぶりの開催。朝8時会場とお客さまいっぱい、パンも焼きそばも飛ぶようにお買い上げいただき、目が回るほどの忙しさに嬉しい悲鳴でした。生で見る力士の皆さんは迫力あって感激でした。(R)



10/13(日)第6回ニャオざねまつりコミュニティ広場

風強く晴天のコミュニティ広場に、ニャオざね、ふっかちゃん、その他ゆるキャラたちが集合したニャオざね祭り。スタンプリーのお陰でパン、ニャオざねサブレは即完売。その他も売り上げ上々。スタッフもニコニコ、年甲斐もなく私もふっかちゃんと記念写真をパチリ。ふっかちゃんの美白に脱帽。来年はもっと美白しては。(Y.K)



10/19(土)サッカー大宮アルディージャ戦 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

年に1度のホームゲームが開催され、場外イベント広場では試合開始時間前から、様々な店舗が活気溢れる販売合戦を繰り上げました。私たち小麦の会も配布されたアルディージャのオレンジTシャツを着て、元気に楽しく参加してきました。あつぱ焼きそばや人気のBBQ食パンなど、サッカーファンの方々に沢山お買い上げいただきました。(A)



10/27(日)江南祭り・奈良フェスタ

秋晴れのさわやかな10月27日(日)に琵琶にて江南祭り、奈良小学校にて奈良フェスタが開催されました。両会場ともたくさんの地域の参加をいただきとても賑わいました。地域芸能の披露もすつかり定着し、実りの秋、食欲の秋を体いっぱい受け止めながら楽しく参加させていただきました。(M・M)



11/14(木)埼玉物産観光館さびお販売 大宮ソニックシティ2F

埼玉県民の日。くわっ葉サブレ新発売に合わせ、深谷のNPOうるおいのまちと一緒にさびお前での試食販売。ソニックシティは県外からのお客様も多く、いつもと違う場所での販売は新鮮な雰囲気でした。ふっかちゃんやゆるキャラの知名度は高く、くわっ葉サブレ、くわ茶とても好評。シフォンケーキやシュークリームもお買い上げいただきました。(R)



11/17(日)重文平山家住宅を活用して楽しむ会・南部民謡コンサート 平山家住宅

ゆずが黄色く鈴なりになった茅葺屋根の平山家。まるで江戸時代にタイムスリップしたような気分がさせてくれる。そんな国指定重要文化財平山家で開催された南部民謡コンサートに参加。午後からのイベントだけに売り上げは…。しかしながら、西馬音内の舞と南部民謡に感激。急な焼き芋屋の登場で類張るスタッフ3人であった。(Y.K)



11/23(土)11/24(日)第9回熊谷市産業祭 熊谷スポーツ文化公園

2日間共、とても良い天気恵まれ、前日より大勢の人出て大盛況でした。小麦の会も毎年の出店で、だいぶ製品を覚えて下さっている方も多く、パウンド、シューレン、サブレ食パンなど、以前買って「おいしかった」と云って名指して買い求めて下さる方もいらっしゃったのは販売している我々もとてもうれしいことでした。今回は焼きそばが少しも冷めないう工夫をしたかと思いましたが、毎年少しずつでも売上が上がって製造、販売をする者としても張り合いです。(HJ)



11/30(土) 熊谷商業高校販売実習 熊谷駅コンコース

年末恒例行事！熊商高の実習販売です。OBだよ！OGなですよ！頑張っってねと、声を掛けてもらい張り切る生徒の皆さん。今回はNHKあさイチの放送の反響もあり、新商品、ふっかちゃんの「くわっ葉サブレ」の売れ行きが好調でした。(T・M)



12/7(土)12/8(日) 深谷ねぎグランプリ 道の駅おかべ

深谷でのイベントに初出店。深谷のNPOうるおいのまちと一緒に試食販売。ふっかちゃんやパンがテーブルに遊びに来て、くわっ葉サブレを持って来てくれました！寒い2日間でしたが、会員さんも遊びに来てくださって、ねぎ掴み取りに参加など、楽しい時間を過ごしました。(R)



12/16(月)熊谷商工会議所女性会シフォンケーキ講習会が平松研究所で開催

講師は高橋泰子会員。熊谷商工会議所女性会の事業に熊谷産小麦を使ったシフォンケーキ講習会が催されました。18人の参加者でシンプルなおいしいシフォンケーキが焼きあがりました。焼成の時間を使ってお茶会があり、自家製の漬物、御饅頭、シューレンの食べ比べも行われ、和氣あふれる会となりました。(H)



12/22(日)ベアリス30K立正大 立正大学

熊谷のベアと立正大学のマスコットのリスをつなげた造語のベアリスランニングクラブ主催の30Kマラソンが1000人の参加者を迎え立正大学で開催されました。NPOの関連で初めて出店！チアガールのオープニングセレモニーが華やかに繰り広げられ、12月の澄んだ気候の中スタート。北関東では30Kマラソンはこの大会だけ。食堂の入り口に小麦の会売店は設置され、山下さんの御協力完成。(H)



埼玉県北部地域振興センター 事業所訪問

〒360-0031 埼玉県熊谷市末広3-9-1 Tel:048-524-1110

埼玉県北部地域振興センターは埼玉県庁の地域出先機関です。熊谷会としてくまがや小麦の会と熊谷工業高校とのコラボによる「ブルーベリー・パウンド」の開発、熊谷女子高校の鈴懸クワンキーの販売なども支援しています。

熊谷市と深谷市、寄居町における地域振興に関する取り組みや、県民活動の支援を業務としており、所長副所長、県民生活担当、地域振興担当、副産物担当、総務防犯担当の4名で構成されています。

● **県民生活担当**
NPO法人の認証や活動の支援を中心に、防犯や青少年の健全育成に関する業務を行っています。

● **地域振興担当**
熊谷市が実施する事業に対し、助成金を交付するなど、まちづくり、地域活性化に対する支援を行っています。妻沼、深谷、寄居に指定されたことを契機として、聖たまを中心とした沼地区のまちづくりも進んでいます。これは、当センターが若者を対象に実施したモニターツアーをきっかけとして、地元人へ生活・就業などの新たな土産品も生まれています。

● **産業労働担当**
中小企業の新規事業を支援するための「経営革新計画」の承認や女性の就業環境を整備するための多様な働き方実践企業の認定などを行っています。なお、商店街の活性化策として、二月九日〜十一日には、深谷で街バルを実施します。観光チケット、〇〇円を販売して、お買い得の深谷を再発見しませんか！

● **総務防犯担当**
熊谷市地方庁舎の管理や県北エリアの防災業務などを担っています。昨年九月十八日の夜半、熊谷市内で竜巻被害が発生した際は、熊谷スポーツ文化公園にある倉庫の隣に、熊谷市から熊谷市にブルーシート四十枚の供給を行いました。

● **現場対応**
現場対応に当たった石川副所長兼地域防災幹事は、「災害が発生したことは残念ですが、訓練の成果を活かして被災者に速やかに物資をお届けできてよかったです。」と語っていました。遠藤所長は、「当センターは、県北地域における県の地域振興の総合調整機能を担当しています。いわゆるなんでも屋です。昨春には、フェイスブックページを開設して、さまざまな情報を発信しています。ですので、地域振興に関するアイデアなど、どんどんお寄せくださいと話してくれました。」

熊谷の誇る伝統工芸
熊谷染
 熊谷染の今昔展
 2014.5月末〜6月初旬(土・日)予定
 10:00〜15:00 無料体験有り
 連絡先:048-523-8324
 場所:熊谷市商工会館 2Fホール
 主催:熊谷染染組合
 熊谷染生徒の最新作等が並びます。
 お気軽にお出かけ下さい。

埼玉ベストスイーツ 2013年1位 「慈げん」
 小麦の会賛助会員の「慈げん」さんが2012年2位から2013年1位に選ばれました。四季折々のかき氷は芸術品です。2月14日(バレンタインデー)、慈げんさんのかき氷は熱い熱いVレンドサイン・ジョンが、期間限定で提供されます。恋する二人は是非とも来店下さい。心温まる地粉うどんもあります。お一人でもOKです。
 〒360-0047 熊谷市仲町45 TEL048-526-1719

新商品紹介コーナー

熊谷市と深谷市のNPOが市の枠を超えて共同開発
くわっ葉サブレ
 埼玉県北部地域振興センターの仲立ちで、深谷市のNPO法人うるおいのまちと熊谷市のNPO法人の当会がコラボして「くわっ葉サブレ」が開発されました。養蚕農家が2.3軒になってしまい、緑豊かな農地を形成していた桑畑が無くなってしまいうつて、緑の保全のため、桑畑の保護が必要で、深谷市のNPOが桑茶を開発しました。桑の葉は茶葉豊富、カルシウムは牛乳の24倍、鉄分は納豆の15倍も含まれます。桑茶が小麦の会に持ち込まれ、桑茶を使ったサブレを開発しました。全国4位の人気ゆるキャラ「ふっかちゃん」の両手に桑の葉を持たせたデザインを深谷市に許可を頂きシールにしました。桑の葉型に生地を抜き、大葉小葉の二種類を作りました。埼玉県主催の「クイズ王選手権」の参加賞、深谷市の「街」の賞品にも採用され、直売所も「そびあ」道の駅おかべと市を超えて参りました。皆様のお感と感謝しております。
 大葉1枚100円 大葉10枚ケース入り1000円 小葉10枚ケース入り500円

イベント出店予定

- 3月 3月23日(日) 第24回熊谷さくらマラソン大会 熊谷さくら運動公園陸上競技場
- 3月30日(日)〜4月7日(月) 第15回全国高等学校ラグビーフットボール選抜大会 熊谷スポーツ文化公園熊谷ラグビー場
- 4月 4月2日(水) くまがや小麦の会春のバスツアー シルクドレレイコ "オーヴォ"
- 4月26日(土) 第8回友山まつり 根岸家長屋門
- 5月 5月24日(土) NPO法人くまがや小麦の会定例総会 於:苜蓿
- 5月25日(日) 第4回熊谷日級グルメ大会 熊谷スポーツ文化公園
- 6月 6月14日(土) 第6回こうなんホテル祭り 熊谷市江南文化会館ビバリア駐車場

■ 会員募集 賛助会員年会費 10,000円 一般会員年会費 一口1,000円
 お申込み: TEL 048-521-7801 FAX 048-521-7900